

# 本覚坊遺文



[本覚坊遺文\\_下载链接1](#)

著者:井上 靖

出版者:講談社

出版时间:1984-11

装帧:文庫

isbn:9784061833838

## 内容紹介

利休自刃を通して「芸術家の死」を問う傑作  
弟子本覚坊の手記の形で迫る死の謎。権力者秀吉の庇護下に侘茶を追求、その命じるまま自刃した利休の内面の悽愴の風景を描く著者晩年の代表作。日本文学大賞受賞

内容（「BOOK」データベースより）

師千利休は何故太閤様より死を賜り、一言の申し開きもせず従容と死に赴いたのか？  
弟子の本覚坊は、師の縁の人々を尋ね語り、又冷え枯れた磧の道を行く師に夢の中でまみえる。本覚坊の手記の形で利休自刃の謎に迫り、狭い茶室で命を突きつけあう  
乱世の侘茶に、死をも貫徹する芸術精神を描く。文化勲章はじめ現世の名誉を得た晩年  
にあって、なお已み難い作家精神の輝きを示した名作。日本文学大賞受賞作。

作者介绍:

目录:

[本覚坊遺文\\_下载链接1](#)

## 标签

千利休

井上靖

小说

日本小说

日本

## 评论

-----  
[本覚坊遺文\\_下载链接1](#)

## 书评

-----  
[本覚坊遺文\\_下载链接1](#)